

消費生活相談Q&A

パソコン使用中の警告音・警告表示に注意!



【事例1】
パソコン使用中に突然「ウイルス感染しています」と画面に表示された。あわてて画面にある連絡先に電話したところ、相手はOSの正規サポート店と名乗り、遠隔操作でウイルス除去を行うと言った。料金は1万円だと言われ、相手の指示に従ってクレジットカード番号、メールアドレス、携帯電話番号なども入力し、「1回限りの駆除ソフト」をダウンロードした。その後怪しいと思い始め、有料サポート契約があるパソコン購入店に連絡し、ダウンロードした駆除ソフトを削除した。

【事例2】
パソコン使用中に大きな警告音が鳴り、警告の表示が出て画面が動かなくなった。電話番号が書かれていたので電話をかけたところ、片言の日本語で「ウイルスに感染している、直すにはお金がかかる、契約のコースを選ぶように」と言われた。6か月2万3,000円のコースを選ぶと、クレジットカード番号、氏名等の個人情報を入力するよう指示されて、入力後「決済が完了した」という明細が送信された。その後パソコンを開いて操作を待つよう言われたので、待っていると遠隔操作が始まり、パソコンのプログラムのような画面が1時間半ぐらい表示された。

使用中のパソコンの画面に、危険を知らせる警告表示が突然現れることがあります。実際には異状がないにもかかわらず、消費者の不安をおおって電話をかけさせ、必要のない契約を締結させられる被害が多発しています。

【消費者へのアドバイス】

- ①警告表示されてもすぐに電話せず、パソコンに導入されているウイルス駆除ソフトでトラブルの有無を確認しましょう。
- ②表示された連絡先に電話する前に、連絡先事業者の情報を確認しましょう。有名なメーカーを騙るニセサイトである可能性もあります。十分に注意しましょう。
- ③契約先が海外の事業者の場合、契約は日本語でも解約は英語での交渉となる場合があります。英語翻訳の支援を国民生活センター越境消費者センター(CCCJ)で受けられますので相談(Eメール、FAX)してみてください。
- ④警告画面の表示が消えない場合は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)のホームページに掲載されている対処方法を参考にするか、契約しているプロバイダーのサポートサービスまたは購入店に相談してください。

■困ったときの相談窓口は：
消費者ホットライン
☎188(188泣き寝入り)と覚えてください。
消費生活支援センター熊谷
☎048・524・0999
役場『消費者相談窓口』
☎76・5133(農林商工課内)

ほだわい最前線

地域のホットな話題をお寄せください

初めて交流会を開催しました 小茂田地区



1月28日、小茂田児童センターで、小茂田地区の老人会と育成会が初めての交流会を行いました。交流会では、輪投げ大会を行ったあとに会食をし、大いに盛り上がりました。この交流会は、同じ地域で暮らしていてもなかなか交流する機会がなかったため、老人会から育成会に声掛けをし、実現しました。老人会の大沼会長は、「高齢者の話や存在が、子どもの健やかな成長に少しでも役立てばと考えています。」と話してくれました。

育成会からの参加者の感想
「親切、丁寧に教えてもらい、うまくできました。」
老人会からの参加者の感想
「正月に会った孫を思い出し、楽しかった。大勢だと食事もおいしかった。」

埼玉県スポーツ少年団表彰 田島 勇さん



12月4日、さいたま市で行われた平成28年度埼玉県スポーツ少年団表彰式にて、美里FCスポーツ少年団の田島勇さんが埼玉県スポーツ少年団表彰を授与されました。長きにわたる青少年の健全育成にご尽力された功績が認められ、今回の表彰となりました。今後も、更なるご活躍が期待されます。

美里FCスポーツ少年団が参加！ 第20回かわせみカップ少年サッカー大会



12月3日、遺跡の森総合グラウンドで、第20回かわせみカップ少年サッカー大会が開催されました。主催者である埼玉信用組合美里支店に所属する地区から総勢8チームがエントリーし、美里からはU-12・U-11の2チームが参加しました。惜しくも優勝とは成りませんでしたが、U-12チームが準優勝、U-11チームが3位と好成績をおさめました。

甘粕Aチームが優勝！ 第24回美子連郷土かるた大会

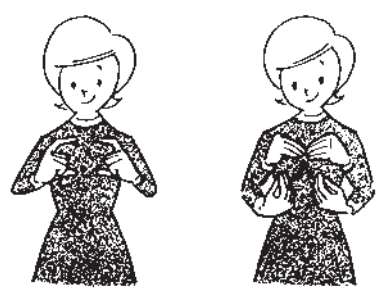


1月14日、町民体育館で美里町子ども会育成会連絡協議会主催による第24回美子連郷土かるた大会が行われました。大会には、町内の小学生(4~6年生)の35チームが参加し、熱戦の末、甘粕Aチームが優勝しました。

ワンポイント 手話講座 168

～チョコレート～

両手2指で四角形をつくり、つまんだ両手で折るしぐさをする



(出典:わたしたちの手話 /(-財)全日本ろうあ連盟発行)

みさとと 文芸

俳句と短歌を募集！毎月5日まで 総合政策課へお届けください

俳句
孫まじへ歌留多遊びやきりもなや
賑やかな雛の間に灯のやはらかにく

短歌
朝の光が体に良いと聞きしより
日の出に合せて雨戸繰る日々
小さくて見落とす程のひいらぎが
庭隅にある冬を教える
成人の祝いスマホにかざす孫
思わずむせびそつと席立つ
亡き母の一筋の涙夢に見る
月命日に花を手向ける
新たな年を迎えし食卓に
雑煮の湯の香り立つ朝
庭の樹々小鳥集いて餌を求め
ピーチクパーと仲睦まじく

俳句・短歌の投稿には、住所・氏名・連絡先・ふりがな等を必ず明記してください

大沢 公子
大野 満子
杖つきて歩むに多き石ころも
路地の風情と人の言うなり
静寂なホール広がる演奏は
夫と奏でし初春の曲
創業は大正二年看板に
誘われて飲むモダンな珈琲店
元日に八高列車通り過ぎ
遠く浮かぶは浅間の雄姿
左手で同じことをやってみる
あゝ右手には神がいるのか
山並みに徐々に見える巨大なり
赤い月に皆歌声湧けり
清水ミヨ子

飯島美智子
原 武久
須賀 茂子
小林カツ子
福島恵美子
原 武久
飯島美智子
小林カツ子
福島恵美子
有馬 康博
有馬 千代
丸山 好子

